



◆ アレルギー支援ネットワーク 通 信 ◆



NO. 83

2013. 11. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

みなさま、こんにちは。

11月 は立冬を迎え、暦の上では冬となります。七五三や酉の市で華やぐ中、紅葉の季節となり、寒い地方には冬将軍が訪れます。

今月も、盛りだくさんの情報をお届けいたします。これからの冬支度のお役に立てたら幸いです。

==== も く じ =====

- 1、「食物アレルギーによるひやりはっと事例の調査アンケート」ご協力をお願い
- 2、見えない敵を撃退！ダニ対策キャンペーン！！
- 3、岩手県の紹介 佐々木 朋子
- 4、防災のはなし 第1回 「自助」 中根 輝彦
- 5、東大震災に対する支援活動のご報告
- 6、アレルギーっ子のおいしいレシピ 安井実奈子
- 7、法人会員からのメッセージ パナソニックエコシステムズ株式会社
- 8、第18回 21世紀あいちの子ども健康フォーラムのご案内
- 9、第8期アレルギー大学 記念講演・研究実践発表のご案内
- 10、アレルギー児親の会からのご案内
- 11、11月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 12、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ
- 13、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 14、メールマガジン会員募集中！無料です。
- 15、募金にご協力ください

=====

-
- 1、「食物アレルギーによるひやりはっと事例の調査アンケート」ご協力をお願い
-

アレルギー支援ネットワークでは、藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院小児科、宇理須厚雄先生らの2013年度消費者庁研究事業にご協力をするために「食物アレルギーによるひやりはっと事例の調査アンケート」（以下「アンケート」と略します）を実施しています。

「アンケート」の締切は12月15日（日）

その後、集計と分析を行い、事例集を発刊いたします。

【アンケートにご協力をお願いしたい方】

食物アレルギーの原因食品を食べたり、触ったり、吸入したりしたときなどに起きたトラブルについてお答えください。

- ① 患者ご自身、或いは、患者の保護者の方にご記入をお願いします。
- ② 園や学校などでトラブルがあった場合は、保育士・栄養士・調理員・教師が、その時の状況や対応についてご記入いただいても構いません。
- ③ お知り合いの方で、病院や外食産業など、保護者以外の方でもトラブルのご経験があれば、是非ご記入をお願いします。

【アンケートの実施方法】

1、インターネットにて回答

アレルギー支援ネットワーク HP (<http://www.alle-net.com/>) 右側カテゴリーの上方「食物アレルギーに関するひやりはっと事例のアンケート調査のお願い」をクリックしていただくと入力フォームにはいることができます。入力フォームよりアンケートにお答え下さい。

2、アンケート用紙にて回答

- ① ご希望の方に用紙を送付いたします。
1事例につき1冊のアンケート用紙にご記入ください。複数の事例がある場合は、お手数ですが、コピーをしていただくか、事務局までご一報いただければ郵送をさせていただきます。
- ② お答えいただいたアンケート用紙は、同封いたしました料金受取人払いの返信用の封筒でご返送ください。職場等でアンケートが複数部ある場合は、とりまとめて返送いただきますようお願いいたします。

《お問合せ先》

認定 NPO 法人 アレルギー支援ネットワーク

〒453-0021 名古屋市中村区大秋町 2-45-6

電話 052-485-5208 FAX 03-6893-5801

E-mail info@alle-net.com URL <http://www.alle-net.com/>

2、見えない敵を撃退！ダニ対策キャンペーン！！

アレルギー疾患（喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、鼻炎など）のある方の7割～8割は、ダニやハウスダストにも反応しやすいので、室内環境の対策特に寝具の対策がとても大切です。

ダニのお気に入りの場所を知ってますか？

今年の夏も、大変暑く、寝苦しい夜が続きましたね。夏の間の汗による湿気と体温で暖かくなった快適なお布団の中で、ダニが増殖しています。来月はもう年末です。忙しくなる前に、布団を綺麗にして、冬の準備をしませんか？

11月限定で、寝具のお得な「セット価格キャンペーン」を行います！

是非、この機会に見えない敵を撃退して、快適な環境を手にいれましょう

商品価格一例（アレルギー支援ネットワーク会員様対象価格）

① 丸洗いと坊ダニシート お買い得セット	【お布団の丸洗い＋防ダニシート】
定価 ￥10,500 敷きシングルの場合	→ ￥9,450(税込み)
② 敷きマットと丸洗い お得セット	【敷きマット＋お布団の丸洗い＋防ダニシート】
定価 ￥58,800 掛けシングルの場合	→ ￥50,000(税込み)
③ まとめ買いセット	【敷きマット＋掛け布団＋防ダニシート】
定価 ￥70,140 掛けシングルの場合	→ ￥60,000(税込み)

※詳細はホームページのアレルギー対象商品共同購入からお申し込みください。

※会員申し込みについての詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.alle-net.com/aboutus/aboutus01/aboutus01-01/>

丸洗いで撃退！今お使いのお布団のダニ対策

みなさんは天日干しをするとダニ退治ができると思っていませんか？確かに、干した後しばらくは乾燥効果があります。しかし、一晩眠れば、すぐに汗をかいてお布団には湿気がこもります。

実はダニは60°C以上の温度にならないと死にません。夏の日にお布団を天日干しすると、お布団の表面温度は50°C近くになりますが、肝心のダニはお布団の中に逃げ込んでしまいます。冬は、温度が下がりますから効果は低くなります。

●定期的にお布団は丸洗いしましょう

お布団を丸洗いすることで、ダニやダニの死がいや糞を除去できます。しかし残念ながら半年もたてばダニは、再び増えてきます。お布団をお手入れなしで使用すれば半年でフケ・アカもたまり、月日がたつとダニのエサとなる汚れが必ず蓄積していきます。布団は1年に一度、定期的に洗浄して中綿の汚れとダニアレルゲンを取り除く事が大切です。

防ダニシーツを併用する場合は、2～3年に1度の丸洗いでOKです。

●布団丸洗いのポイント(業者選び)

- ① 最低 3 時間以上、60～80°Cの「熱処理」を行うこと
- ② すすぎの水は、循環水でなく流水洗いであること

※アレルギー支援ネットワークでは、大木産業株式会社と共同開発した特別の工程で、お布団の丸洗いを行っています。安心してご利用いただけます。しかも、東海4県は引き取り無料です。

丸洗いしている間は、今までのお手入れの状況や寝室の環境にもよりますが、お布団の使用年数が10年以上の場合は残念ながら「丸洗い」では改善の期待ができませんので、**処分して買い替え**ましょう。

ダニを住ませない！ダニ対策アイテムのご紹介

●防ダニ(高密度)オリジナルシーツ(各サイズ)

- ① 針穴までダニが侵入しないように、縦横のつなぎ目や、ファスナー部分に接着テープを使いアイロンで接着
- ② 「長綿」を利用した、「あや織」。これまでの高密度の綿よりきめ細かく、洗濯洗いに優れる
- ③ ダニの数を低レベル(10匹/m²以下)にコントロール
※防ダニシーツを掛けるだけでは、ダニ対策は不十分です。ダニの大きさは通しませんが、お布団が古く丸洗いしていませんと、ダニの糞や死骸が、粉状となり外に出してしまいます。

●エンドレスファイバー(超長繊維のポリエステル繊維)掛け布団(シングルサイズ)

- ① ハウスダストの軽減

- ・超長繊維の為、布団綿からのハウスダストの基になるホコリの離散が少ない
- ・制電綿交織ブロード使用によりハウスダストの吸着が軽減される

② ダニの侵入を防止

- ・ダウンプルーフ生地使用でダニの侵入を防止

③ ウオッシュャブル対応

- ・ダニ撃退に対応した丸洗い及び乾燥が容易

●三つ折敷きマット(102×209×8.0(厚み))...

① クリーンで衛生的

- ・空隙間が多く水はけが良く洗濯乾燥性に優れている
- ・ダニの餌となる頭皮等が付着しにくい

② ダニの生息条件を取り除くことができる

- ・構造上、通気性がよく、湿気がこもらない
- ・構造上、睡眠時の体から出る水分を発散させる

③ メンテナンスが簡単

- ・家庭で簡単に洗淨ができ、管理が容易である
- ・三つ折の為、ベランダにて簡単に乾燥殺菌ができる

皆様の寝具のお悩み、ダニ対策のご相談を承りますので、お気軽にご相談ください。

[ご相談は info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com) または、アレルギー支援ネットワーク 052-485-5208 でお待ちしております。

3、岩手県の紹介

佐々木 朋子

皆様、初めまして。私は岩手県で働いている一小児科医師です。

まず全国の皆様に、被災地支援をしていただき御礼申し上げます。お陰様で、復興は少しずつですが順調に進んでおります。

私は岩手県の大船渡市(沿岸南部の被災地)で勤務し、その後6月から約4か月の間、アレルギー支援ネットワークさんの支援もあり

あいち小児保健医療総合センターでアレルギーの研修を受けることができました。

今研修のきっかけは、震災後の診療応援で伊藤先生と漢人先生がいらっしゃっていただき、その際私の上司に研修のお話をいただいたからです。

これまで食物アレルギーに関する本を読んでも上手く理解できず、でも患者さんからの要望は多くあり「今がチャンスかな」と思い利用させていただきました。

実際学ぶことが多く貴重な時間をすごさせていただきました、ありがとうございました。これからは岩手県に学んだことを還元したいと思います。

今回、コラムをお願いされて何を書こうかすごく迷いましたが、あまちゃんをきっかけに少し全国のみなさんに知れ渡った岩手県について、私が知っている範囲内で少しご紹介したいと思います。

岩手県は北東北の青森と宮城の間で秋田県の隣(太平洋側)に位置し、県の面積は北海道に続いて全国2位(四国とほぼ同じ面積)と広いが、その割に人が少ない。

県民の特徴(これはあくまで私の感想)、内向的でおとなしく平和主義の人が多し。しかし沿岸部に行くと、意外と物事をはっきり言う人が多い。

(盛岡市の)スーパーに売っているものの特徴として、海産物・肉が新鮮、リンゴの種類がすごく多い、豆腐やクルミ料理(クルミだれ餅など)が多く、福田パン(大きいコッペパンにいろいろなジャムなどがぬってあり、安くてボリュームがあるので学食によく売っている)があげられます。

私がお薦めする岩手のグルメは、まずぴよんぴよん舎の冷麺です。あっさりしていて、焼き肉との相性抜群です。寒くなると温麺がいいのかもしれませんが。

次に、白龍のじゃじゃ麺。中華麺ではなく平うどんに、甘辛のこってりした肉・野菜入り味噌ときゅうりを盛り付けて食べます。ちょっとこってりしたものが食べたい時に最適です。締めは、お椀に残った少しの麺と味噌に卵、ネギとスープを入れて(チータンと呼びます)あっさりとして締めます。三陸のわかめ、あわび、うに、かき、ほたて、さんま、さけや岩手短角牛、豚(「佐助」や「白金豚」等)、鶏(南部どり等)、そば(記念にわんこそばもいいが、味わって食べるほうがいい)等、あげるときりがありませんがいつか機会がありましたら堪能してください。

4、防災のはなし 第1回 「自助」 防災士 中根 輝彦

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。今回より防災の話題を担当することになりました。どうぞよろしくお祈りします。

まずは自己紹介を少し。アレルギー支援ネットワークとのお付き合いは平成22年くらいからになります。地元自主防災会の防災訓練でアレルギー対応食の炊き出し訓練を指導させていただいたり、アレルギー支援ネットワークの東日本大震災の支援ブログの立上げに協力させていただいたりしています。

自分自身も家族にも食物アレルギーの者は一人もおらず、これまではまったくアレルギー対応の取り組みはしてこなかったため、ほとんど門外漢という状況です。

災害支援・防災に関しては平成15年くらいから取り組み、現在は地元自主防災会の役員として活動の企画運営をしたり、市内の防災講座や他の自主防災会の訓練指導等をしております。

このメルマガでは、アレルギーに関する専門的な内容よりも、一般的な防災のお話から地域防災活動へアレルギー支援をどう広めていくのかといった事例研究や読者交流など、防災を切り口にした内容でお役に立てる情報を発信していけたらと思っています。

第1回となる今回は、「自助」についてのお話です。

防災の世界には「自助・共助・公助」という言葉があります。「自助」は自分のことは自分で何とかしようという取り組み。「共助」は自分でできないことはみんなで何とかしよう。「公助」は手に負えないことはお役所に頼もう。ということです。

自助と共助の区分は曖昧です。立場が異なると、同じ取り組みを自助とも共助とも捉えることができます。厳密に区別することにこだわる必要はないでしょう。例えば、町内会の活動。自分の家族で取り組むことは「自助」で、町内の皆さんが協力しあって取り組むことは「共助」です。小学校区の町内会連合会などでは、個々の町内会の活動は「共助」ではなく「自助」、町内会相互の協力が「共助」となります。どの立場で誰のために取り組んでいるのかを意識することが重要です。はっきり区別できそうなのは、「公助」は役所や公的機関が中心となって取り組む内容だということです。

さて、「自助」として取り組まなければならないことは何でしょうか。日ごろの防災活動での対策支援、被災後の復興支援、いろいろな局面で共助・公助の手が差し伸べられますが、それらの支援ではどうにもできないことがあります。これは「自助」として、自分で家族で何とかしなくてはなりません。

「自助」でしか解決できないこと。それは、「個人資産の管理・処分」。どうしたいのか、どうありたいのかという「自分の希望する姿を決める」こと。そして、いろいろな支援を受け入れるのか、断って我慢するのか、折衷案で妥協するのか、といった「決断」です。決断には「責任」が付いて回ります。その後の事態を受け入れる「覚悟」も必要です。

「自助」の取り組みを、我が子のアレルギー対応に当てはめて、考えてみて下さい。絶対に失いたくないもの、ギリギリの局面でも文字通り「死守」したいもの、他人に委ねられないこと、これだけは自分の手で…、どんなことがありますか。たくさんありますか。

前述のように、「自助」でしか解決できないことは、「共助」の手を差し伸べる支援者にもどうすることもできません。これらは何が何でも頑張って守っていただきたい。残念ながら「健闘を祈ります」としか言えません。踏み込むことができない領域ですから。

「たくさんありすぎて手に負えない」って感じましたか？大丈夫です。「共助」の仕組み・方法・仲間を作り、それらに「委ねる決断と覚悟」ができれば、道は開けます。

今回は、「共助」についてお話したいと思います。

5、東大震災に対する支援活動のご報告 常務理事 中西里映子

9/23(月)～9/26(木)に、「住まいの改善指導・調査」事業の最終調査を行いました。

住まいの調査は、東北地域の復興支援事業の一環として、また同時に、近い将来起こると言われている災害に備える調査の一環として、名古屋工業大学大学院工学研究科産業戦略工学専攻 水谷彰夫教授、中部大学応用生物学部 須藤千春元教授らと、岩手県、陸前高田市、大船渡市などの協力を得て行っているものです。

対象の仮設住宅および戸建住宅 30 軒に対して、昨年9月には基礎調査を、また、10月～11月にかけて個別訪問調査を、加えて12月には、「結露の発生状況」の調査を行いました。半年後の、今年4月には、ダニ及びダニアレルゲン量の測定、聞き取りによる環境調査、居室内の温湿度測定と9月までの継続調査のお願いをしました。

今回は、最終調査として、再度一軒ごとに訪問をして、再びダニ及びダニアレルゲン量の測定、聞き取りによる環境調査、居室内の温湿度計の回収をし、1年間の調査の御礼をいたしました。調査は、今回も同行した水谷研究室の연구원と建築デザイン学科の准教授合わせて4名と、大船渡事務局スタッフの村上さん、菊池さんのご協力のもとスムーズに行うことができました。1年間継続して行った調査結果が出ましたら分析をして、市の関係課や仮設の住民の方にフィードバックをいたします。

また、大船渡市のNPO団体である「子育てシップ」からご依頼があり、子育てシップ主催のママサロン（大船渡市と陸前高田市でそれぞれ月に1度開催）の定例会（今回は陸前高田市）で、アレルギー勉強会の講師をいたしました。

出席者は、20家族と、スタッフ5名でした。

アレルギー疾患をもつ患者家族は4組で、勉強会終了後にも個人的に質問にこられました。陸前高田市には、アレルギー専門医がおらず、不安な様子でした。

12月には、釜石市の幼稚園よりご依頼があり、アレルギーの勉強会の講師をさせていただく予定です。

私たちにできることは小さなことですが、アレルギーが心配な方のお力になることができればと思い活動を続けています。

6、アレルギーっ子のおいしいレシピ

「小豆・豆乳プリン」

安井 実奈子

夏の疲れた体を中からきれいにしてくれる、ほっこりやさしいデザートです。
お気に入りの器に、盛り付け、おもてなしの一品にしてみてもいいですか。

レシピはこちらから

7、法人会員からのメッセージ

パナソニックエコシステムズ株式会社

『加湿機の選び方』

朝晩の気温が低下し室内が乾燥する季節となり、のどや肌の保護、風邪対策を目的に加湿機を購入される方も多い時期になりました。

但し一口に加湿機といっても、方式や大きさ等たくさんの種類が販売店店頭に並んでおり、「選び方がよく判らない」というお客様の声を当社の相談センターにもよく頂戴しますので、今年は『加湿機の選び方』というガイドブックを作成し、量販店頭にて配布し啓蒙することとしました。

アレルギー支援ネットワークのメルマガでも紹介させて頂きますので、加湿機ご購入の際にぜひご活用ください。

■加湿機の選びかた(加湿機ガイドブック)

<ガイドブックの内容>

☆加湿機を知ろう！

- ・どんな加湿機が、いい加湿機なの？
- ・加湿方式によって加湿能力は違うの？

1、加湿機ってどうして必要？

- ・お部屋の湿度は簡単に↑↓(上がったたり下がったり)します。
- ・湿度は高くても、低くても脅威！

2、購入の際のチェックポイント5

- ①加湿量のコントロールを！
- ②運転音は静か？
- ③省エネかどうか？
- ④お手入れのしやすさは？
- ⑤お子さんやペットのいるご家庭はチェック！

3、加湿機の上手な使い方

～御使用時のポイント～

4、パナソニック加湿機紹介

更に、『もっと詳しく「加湿機」編』というHPも用意し、湿度の基礎知識、必要加湿量の計算方法などを、さらに詳しく紹介しています。こちらもぜひご活用ください。

■ 『もっと詳しく「加湿機」編』

http://panasonic.co.jp/es/peses/products/iaq/h_index.html

<内容>

- ・ 湿度の基礎知識
- ・ 加湿機の選び方
- ・ 必要な加湿量を知ろう
- ・ 最新機種のご紹介
- ・ こだわりの技術

■ パナソニックの加湿機はこちらをご覧ください。

<http://panasonic.jp/kashitsu/>

8、第18回 21世紀あいちの子ども健康フォーラムのご案内

11月17日（日）に子どもの感性を豊かにすることを目的とした、

第18回 「21世紀あいちの子ども健康フォーラム」を

あいち小児保健医療総合センターで開催いたします。

親子でイベントやトークショーなどを体験でき、感性豊かなお子様の

の発育方法について楽しく学びましょう。

入場は無料です。皆様、お誘い合わせのうえ、ぜひご参加くださいませ。

9、第8期アレルギー大学 記念講演・研究実践発表のご案内

6月より開講してから6カ月に渡って各地で開催してまいりました第8期アレルギー大学を締めくくる講座は、記念講演・研究実践発表です。

今期の記念講演は名古屋でご活躍の藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院小児科教授の宇理須厚雄先生、そして国立病院機構下志津病院の鈴木修一先生と各地でご活躍されてる先生方の講演を予定しております。

また、アレルギー大学の受講生・修了生により、職場・家庭での研究実践・活動報告では、栄養士・アレルギー児の母親・学生・企業の取り組み等、それぞれの立場から現場の生の声をとどけていただく大変興味深い内容となっております。

どうぞ、皆さまお誘い合わせのうえ、アレルギー大学記念講演・研究実践発表をご受講下さい。皆さまからのお申込みをお待ちしております。

アレルギー大学ホームページはこちらをご覧ください。

<http://www.alle-net.com/alledai/alledai01-01/>

10、アレルギー児親の会からのご案内

【 緑アレルギーの会 】

11月22日(金)の交流会は、長年、保育所でアレルギー対応食作りに従事し、支援ネットの理事、アレルギー大学の調理実習講師を務めていらっしゃる、青木好子先生を講師にお招きし、『もう一度「食」を考えてみよう』をテーマに講演会を開催いたします。

この機会に、もう一度食生活を見直し、食事作りで気をつけるポイント、偏った食事にならない工夫などについて学びませんか？もちろん、アレルギーっ子の食事についての質疑応答も予定しています。

どなたでもご参加いただけます。皆さまお誘い合わせのうえ、お申し込みお待ちしております。

尚、会場に入れます人数に制限がございますので、必ず、事前にお問い合わせください。

11、11月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど私たちと一緒に話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合せも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

参加希望の方はご連絡を下さい。お待ちしております。

【11月の日程】

1日（金）あま市アレルギーの会

美和公民館 和室1

6日 (水) 西尾アレルギーの会 アレッ子元気	西尾市総合福祉センター4階 洗心庵
7日 (木) 守山アレルギーの会	守山区社会福祉協議会 3階ロビー
8日 (金) 春日井市アレルギーの会	レディヤン春日井
10日 (日) 刈谷アレルギー児の親の会	刈谷市民ボランティア活動センター
14日 (木) 天白アレルギーの会	天白スポーツセンター 第3会議室(2階)
15日 (金) アレルギー支援ネットワーク	アレルギー支援ネットワーク 事務所
15日 (金) 岡崎アレルギーの会	南部地域交流センター
18日 (月) 蒲郡アレルギーっ子の会	蒲郡勤労福祉会館
20日 (水) ぶちヴェール日進・長久手アレルギーの会	北部福祉会館 食事室&和室
21日 (木) 名東区アレルギーの会	名東区在宅 サービスセンター・研修室2
21日 (木) 豊橋アレルギーっ子の会	豊橋会館「さくらピア」児童保育
22日 (金) 緑アレルギーの会	緑保健所徳重分室(ユメリア徳重)

名古屋南部アレルギーの会 お休みです。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>

<mhtml:%7B391507A9-FDA5-4B61-A241-76B1EBC37C8A%7Dmid://00000148/%21x-usc:<http://www.alle-net.com/>>

皆さまのご参加をお待ちしております。

12、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

【防災セットとは】

アレルギー支援ネットワークの、防災救援システムの一つです。

緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンドにより、アレルギー疾患を持つ患者家族の皆様が、アレルギー支援ネットワークと連絡を取り合える事を目的とし、災害時・緊急時に患者の情報をスムーズに伝えるために役立つ緊急時(災害時)おねがいカードをセットにしました。

【セット内容について】

防災セットは、緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンド1本・緊急時(災害時)おねがいカード3枚がセットになります。

【緊急時安否確認システム】

地震など大きな災害が発生した場合は、被災地域の登録者に対してアレルギー支援ネットワークより安否確認メールを送信します。

メールに返信していただくことで安否の確認をいたします。その際必要な情報がある場合希望内容をご連絡ください。

被災した現地の支援情報等得ることができている範囲での最新情報をお伝えいたします。

【データ登録シリコンバンド】

シリコンバンドには安否確認システムにリンクする登録番号が印字されており、バンドを身につけていることで、緊急事態でも事前に登録された患者情報から迅速に救援の手配をすることができます。

【緊急時(災害時)おねがいカード】

災害時に保護者と離れ離れになっても、周囲の人にアレルギー症状や除去食品、連絡先や主治医等の情報を正確に知らせるための携帯用カードです。

非常時にはもちろんのこと、平常時にも周囲に正確な情報を提供するために役立ちます。

【防災セットお申し込みについて】

対象者: 食物アレルギー、ぜん息、アトピー性皮膚炎などの患者本人または保護者の方

料金: アレルギー患者 1 人につき1セット無料(登録料・管理サービス料・送料などすべて不要です。)

注意・・・公益事業として助成金で作成費などを補っているため、無償サービスは先着1万名様となります。有償になる場合は事前に HP でご案内いたします。

予備・追加について: 予備の購入、紛失等による追加は、シリコンバンド1個 250円、緊急時おねがいカードは1枚 25円となります。

(送料・振込手数料は自己負担となります)

【申し込みの流れ】

① 安否確認システムへの登録 (アドレス表示)から登録してください。

[登録方法](http://alle-res.com/Contents/Menu.php)をご覧ください、<http://alle-res.com/Contents/Menu.php> よりご登録下さい。

(既にシリコンバンドをお持ちの方もまずは安否確認システムへご登録ください)

登録に使用するメールアドレスは、「@」より前に「.」の使われているものはご利用になれません。登録メールアドレスを設定する際に、メールフィルターをご使用の場合には、メールフィルターの設定を解除してください。

↓

②アレルギー支援ネットワークに登録情報が届く。

↓

③登録番号の決定(番号の指定はできませんので予めご了承ください)

↓

④登録番号の入ったシリコンバンド(1本)と緊急時おねがいカード(3枚)が届く。

(登録から発送まで、1~2週間ほどかかります。)

【登録後】

災害時・緊急時にこのシステムを少しでもスムーズにご利用頂けるよう、日頃から3~4ヶ月に1度程度メール配信をいたします。

メールアドレス変更・登録内容の変更等は、防災ネットワーク・お問合せフォームよりご連絡ください。

現在、様々な状況に応じできる限りの情報提供ができるよう平時より体制を整える準備を進めています。

13、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。

本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々に執筆・編集協力をしていただいております。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があるという皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

14、メールマガジン会員募集中！無料です。

アレルギー最新情報や地域の会の情報など、「アレルギー」に関する情報満載の「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン」。ただいまご購読会員募集中。ご購読は無料です。みなさんの周りの方にも、ぜひご登録をおすすめください。また「こんなことを取り上げてほしい」「知りたい情報がある」などメールマガジンで取り上げる記事についてのご要望もお待ちしています。

あなたの声で、アレルギー対策が一步前進するかもしれません！info@alle-net.com までお気軽にどうぞ。

15、募金にご協力ください

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※

「GiveOne 寄付サイト」<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト
～アレルギーを持つ親の不安な気持ちを支え、子供たちの笑顔を守ろう！！～
(※GiveOne の寄付サイトでは引き続き掲載をさせていただいております。)

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10290>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは

asn-mailmagazine@alle-net.com (メルマガ編集部) までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆ ★☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することな
んでも OK です。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

-----★みなさまか
らのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6 (3月5日に事務所はこの住所に移転致しました)

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----